

2024 年度ゼミ（演習 1）要覧

担当者名	井手上和代
演習テーマ	アフリカ「経済開発」のいま
演習の内容	<p>本演習はアフリカの経済および同地域の開発課題についての理解を深め、3回生以降のより専門的な学習と卒業論文の執筆に向けた学問的関心を育むことを目的とします。</p> <p>アフリカでは、多くの人々がインフォーマルセクターと呼ばれる部門で経済活動を営んでいます。インフォーマルとはいえども、その経済活動の実態はダイナミックで、人々の普段の生活を支える重要な主柱であり、アフリカを知る上で無視できないものです。</p> <p>本演習では、こうしたアフリカの人びとが営む普段の経済活動の実態を知り、理解するとともに、「開発とは何か?」という古くて新しい問いについても時間をかけて考えていきます。</p> <p>アフリカの人びとはどのように生計を立てているのだろう?アフリカはなぜ今も「貧困」だと言われることが多いの?そもそも「貧困」ってなに?など、受講生には本演習をはじまりとして、アフリカ経済にまつわるこのような疑問を自分なりに理解し、学術的に説明ができるようになってほしいと思います。</p> <p>演習1では、文献の講読に加え、アフリカ各地で開発協力を行う実務者、社会的起業家、行政官、人類学者などを招き、講義と交流会を通じて、ダイナミックなアフリカ経済についての理解を深めていきます。</p>
テキスト・参考書	<p>『アフリカ経済開発論』ミネルヴァ書房（2024年秋刊行予定）</p> <p>『ストーリーで学ぶ開発経済学：途上国の暮らしを考える』有斐閣</p> <p>加えて、演習の内容に沿ったテーマの論文を授業内で指示します。</p>
成績評価の基準	<p>授業内の発表—30%（担当章についての発表）</p> <p>授業への出席・貢献—30%（討議への積極的な参加を評価する）</p> <p>レポート—40%（テキストの章から一つを選び、それに関するレポートを執筆・提出する）</p>
校 外 実 習	（実施する、 <input checked="" type="checkbox"/> 実施しない）
校外実習を実施する場合、実習地・時期、個人負担額	今年度はアフリカ地域での校外実習は行いません。ただ、関心がある人はぜひ個人で同地域へ足を運んでみてください。その際のサポートは可能な限り行います。（例：2023年度のゼミ生の一部はケニアおよびルワンダでのボランティア活動に参加しました。）
選考方法	小論文の提出

小論文（テーマ、書式・枚数、提出期限・方法）	<p>(内容) 自己紹介、志望理由、関心のあること、これから学んでいきたいことを書いてください。</p> <p>(書式・枚数) ワード文書で 2000 字程度</p> <p>(提出方法・期限) 下記メールアドレスに 5 月 26 日（日）までに送ってください。</p>
メールアドレス	ideue@k.meijigakuin.ac.jp
説明会・オフィスアワー	2024 年度春学期は授業を開講していませんので、対面での説明会・オフィスアワーは開催しません。しかし、演習の内容など担当者による説明を希望する方は、必要に応じて Zoom あるいはメールでの相談に応じます。その場合も、事前に上記メールアドレスに連絡してください。
履修済・履修中であることが望ましい授業	※秋学期に開講予定の「アフリカ地域研究」を履修することで、さらに理解が深まると思います。
2025 年度に在外研究等で演習を開講しない可能性	(なし)
備考	日頃からメディアや新聞、文献などを通じて、情報を得る習慣を身につけてください。特に、アフリカに関心のある学生は、海外メディア・英語文献などからも情報・知識を得ることをおすすめします。百聞は一見に如かず、できればアフリカ地域に足を運んでみてください。